

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 28 年 11 月 12 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 3 分
開催会場	姫治公民館
出席議員	澤野 伸、可児 慶志、伊藤 健二、山根 一男、野呂 和久 川上 文浩、天羽 良明、勝野 正規、渡辺 仁美
班長	川上 文浩
報告書作成者	勝野 正規
参加者数	23 名
実施内容	議会のトピラによる平成 28 年度決算内容 テーマ：「使いやすい公民館」「地域でできる子育て応援」
質疑および 意見等	<p>【1 グループ】</p> <p>意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地区は行事の開催時などにおいて、人の集まりも多くまとまりの良い地域である。しかし、毎年開催してきたスポーツまつりの閉祭などが起こってきているため、このような問題点を考えるべきである。 ・コミセン化した場合の管理運営の主体を誰が担うかについては今までのように連絡所機能を自治会が行うのは困難である。しかし、既存の諸団体や新しいグループが一つの自治組織を作り、管理運営に当たるのであればそれが可能となる。 <p>【2 グループ】</p> <p>意見等</p> <p>Q：リニアについて現状はどうか。</p> <p>A：地上走行が検討されている久々利大萱地域では住民との話し合いが行われており、市として寄り添う形で対応にあたっている。また、大森地内の非常口の位置についても住民との話し合いが行われている。</p> <p>Q：今後、市の税収減も心配される。職員の人件費増（人事院勧告で給与が上がる）の状況もあり、職員の数も適正化に努めてもらい、最小人数で最大限の効果の出せる市の組織体制を。</p> <p>A：（聞置く）</p> <p>Q：政務調査費について、支出後に清算する形が望ましいのでは。</p> <p>A：政務調査費について可児市議会は、1 円から領収書の提出が義務づけられ、議会HPで公開も行っている。</p> <p>Q：可児市の下水道化率はどうか。今後下水道化率の向上に努めて欲しい。</p> <p>A：公共下水道の普及状況は、処理区内人口が 90, 548 人で、水洗化率（平成 27 年度末）で 91.6%となっている。</p>

意見

- ・小中学校の給食の滞納が課題だ、それにより学校の仕事量も増え先生も大変。
- ・給食を無料化して自治体もある、可児市も検討をしてはどうか。
- ・事前に市内の空き家を把握しておき、災害時に活用してはどうか。
- ・子育て支援活動に男性の活躍する場、役割をもっとつくってもらいたい。
- ・小中学校のあいさつ運動で、あいさつをしても返事がかえってこないことがある。
- ・猫のふん害に悩まされている。

公民館に関する意見

- ・連絡所も併設されており、市職員も配置され人件費が掛かり過ぎる。
- ・上記の他、施設維持費や改修費も今後検討が必要だ。
- ・備品（コンロなど）も古いものをまだ使用している。
- ・公民館に来る人が少ない、また一部の人しか利用していない。

【3グループ】

Q:建物の無料簡易耐震化の現状はどうか？

A:9月からパソコンを使った耐震診断が出来ます。

防災に関する意見

- ・集会所が避難所になる。今集会所の耐震化が出来ていない。理由として構造図作成に100万円もかかる。(建築会社倒産し構造計算書がないため。)
 - ・地域住民の防災意識は、現在は高くない。避難経路が把握できていない。
 - ・山際のレッドゾーン地帯に住んでいる住民が多い。
- 防災ハザードマップの再確認が必要である。(どこが危険か、情報の統合が必要。)

子育てに関する意見

- ・ボランティアに携わっている。地域の子育ては重要である。

公民館のコミュニティーセンター化に関する意見

- ・地域サロンや子ども食堂、赤ちゃん教室など少しずつ利用が進んでいるが、桜ヶ丘などより公民館稼働率が低いのは、周辺の人口が少ないし、高齢化が進んでいるので、低いこと自体が問題があるとは思わない。利用している内容は、充実してきている。地元の利用が阻害されないように更に規制撤廃等改善が進むとよい。
- ・地域の方々の利用の現状を維持しつつコミセン化が進んでいくのは、いいことだ
- ・飲食について規制が多いという感覚はある。

【4グループ】

議会だよりの報告に関する意見

Q：決算で余ったお金はどうするのか。

A：入札差金や補助金の関係で、差金が発生した。その差金の概ねは基金と繰越金となる。

Q：広見駅前に子育て施設とは何か。

A：トータル26億円を費やす。当初は民間誘致を検討したが無理であった。よって、行政として子育てに関するものを集約し、駅前の活性化と子育て世代を応援していくための拠点施設

Q：市道56号はどこか。

A：答弁：二野地区の道路である。実績報告書により説明)

Q：消防団詰所の計画について

A：答弁：車庫、車両更新を順次計画的に更新している。

Q：ゴルフ場利用税存続の意見書を出されているが、年金生活者としては、ゴルフ場利用税は無いほうがありがたいです。ゴルフ場利用者の8割以上が市外の方と思われる。よって、可児市の住民だけでも免税できないか。

A：答弁：利用税は約2億円あり、地域の活性化に資するものである。ゴルフツーリズムの推進、ジュニアの育成などのために、ゴルフ協会へ1千万円のフィードバックを行っている。免税に関しては国が集める税なので無理であると考えます。

使いやすい公民館に関する意見

・公民館をコミセン化する場合には、利用に際しては更なる利便性が向上されるように努められたい。

・災害時における市民避難行動計画を市民周知されたい。

・災害時には公民館が避難所となるため、全館バリアフリー化を検討されたい。

・防災倉庫などの整備に際し、各自治会が対応し易いように市民周知されたい。

子育て応援に関する意見

・姫治地区の一部では子ども食堂を開催している。一人親世帯への更なる支援を積極的に推進されたい。

上記の内
委員会等
で検討す
べきもの

- ・避難所となる公民館の耐震化の促進
- ・防災ハザードマップの市民再認識
- ・公民館の利用が阻害されないような規制撤廃等
- ・災害時の避難所としての公民館のバリアフリー化の推進
- ・災害時における市民避難行動計画の市民周知
- ・一人親世帯への積極的支援の推進

平成 28年 11月 18 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 姫治公民館会場 班長

川エ文 栄